

# VI Manual

「丹波篠山」ブランドロゴマークマニュアル



丹波篠山市

## 1 「丹波篠山ロゴマーク」について

### メインロゴマーク



“丹波篠山”の魅力をさらに発信する「丹波篠山ブランド戦略」は、以下に示す地域資源を「5つの宝石」として価値向上をめざします。

- ①「美しい町並みと農村景観」
- ②「農の都、食の聖地」
- ③「歴史と文化、芸術」
- ④「命輝く自然環境」
- ⑤「丹波篠山人」

#### 【「丹波篠山ロゴマーク」について】

- ・ロゴマーク上部の山すそにかかる雲のモチーフは、すべての宝を守り生み出す「丹波篠山人」の手を表しています。
- ・その右下には、茅葺の家を配し山々にかかる太陽とともに「農村景観」を表しています。
- ・左部には、名物「ぼたん鍋」の「猪」や「稲」、右下に「丹波黒豆」、下部に「丹波篠山茶」の葉を描き、豊かな自然の中で育まれる産品を表しています。
- ・下部の山型の図柄は、歴史ある「デカンショ祭」でかぶる“笠”を意味しています。
- ・丹波篠山の文字の周りに「5つの宝」を楕円形額縁のように配置し、ロゴマーク全体で“丹波篠山”が「5つの宝石」を持つ、本当に豊かな地域であることを表現しています。

## 2 「丹波篠山ロゴマーク(メイン)」の使用と配色について

### 「丹波篠山ロゴマーク」の使用にあたって

- ・「丹波篠山ロゴマーク」は、丹波篠山市をはじめ市内の多種多様な企業や事業体に使っていただき丹波篠山の魅力アップやブランドイメージを高めるとともに各主体の事業活動をさらに充実させるものです。
- ・そのため、この使用マニュアルはビジュアル的に統一されたロゴマークを正しく使用していただくよう、規定したものです。
- ・正しく使用することで丹波篠山を広く社会に認知してもらい、ブランドを高め、魅力的な地域づくりに展開しています。よって、この使用マニュアルを遵守いただくことを切にお願いいたします。

### フルカラーの場合



### 【ロゴマーク規定カラー】

#### 〔丹波篠山紫墨〕



C19+M34+Y46+K80

〔特色・単色の場合〕

DIC-N959 / K100%

#### 〔丹波篠山赤〕



M75+Y100+K14

〔特色の場合〕

DIC-237 / K75%

#### 〔丹波篠山緑〕



C70+M30+Y100+K20

〔特色の場合〕

DIC-2321 / K75%

#### 〔丹波篠山黄〕



C3+M40+Y100+K10

〔特色の場合〕

DIC-C85

#### 〔丹波篠山茶金〕



C11+M49+Y86+K30

〔特色の場合〕

DIC-240

### 最小使用サイズ



### 3 「丹波篠山ロゴマーク(展開)」について

#### カラー(塗)の場合



「丹波篠山ロゴマーク(展開)」の使用にあたって

- ・「丹波篠山ロゴマーク(展開)」は、メインのロゴマーク」の下部に位置します。
- ・よって、メインのロゴマークが使えにくい状況になった場合のみ使用してください、
- ・使用に際しての条件(マニュアル)は、メインのロゴマークとまったく同じです。

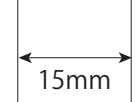
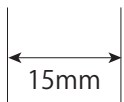
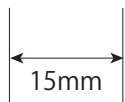
#### モノクロ(墨)の場合



#### モノクロ(白)の場合

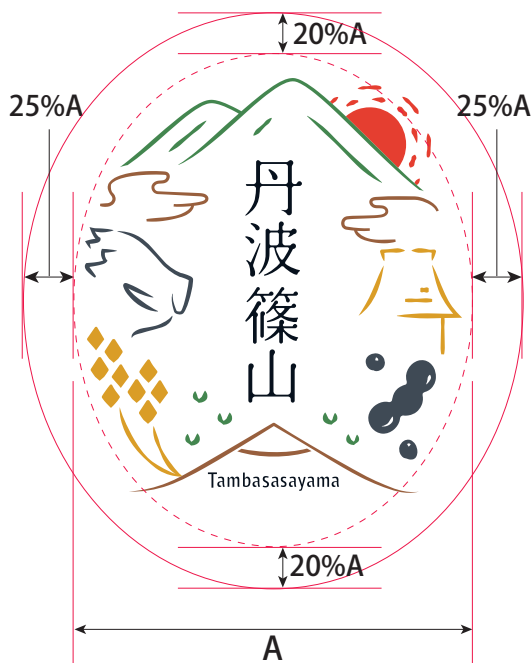


#### 最小使用サイズ



## 4 余白と使用方法の禁止について

- ロゴマーク余白域
- ・ロゴマークの視認性をまもるため、その周囲には以下に示す余白域をとってください。余白域には、他の文字、図形等の要素を配置しないでください。



- 使用方法の禁止
- ・ロゴマークは、正しく使用されてその効果を発揮します。使用方法を守り、イメージや視認性を損なう使用はさけてください。
  - ・使用に際して不明な点については丹波篠山市にお問い合わせください。



・指定色を変えない。



・周りのイラスト部分だけを使い、書体をかえたり、他の文字を入れたりしない。



・変形をしない。



・他の図形等と組み合わせない

## 5 「丹波篠山ロゴマーク」の背景色について

背景色を使用する場合 | ・地色濃度10%までに限ります。

【ロゴマークがカラー】



ロゴマークが白色の場合 | ・地色濃度は40%から使用可能



40% 100%

